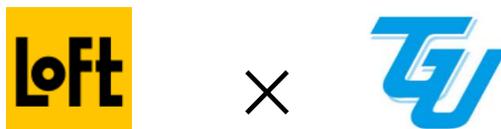


## 株式会社ロフト と東北学院大学

## 「東北地域の活性化」をテーマに産学官連携学生生活動スタート



株式会社ロフト（東京都千代田区二番町5番地25 社長：内田 雅己）と東北学院大学（宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1 学長：松本 宣郎）は、このたび産学連携学生生活動をスタートする運びとなりました。来る6月16日（火）、仙台ロフトにて包括連携協定を締結し、発足後、その一環として活動を進めるものです。インターンシップでもなく、授業でもなく、学生が主体的に課題を発見し、解決に取り組む経験を実践的にできる『場』として、企業と大学によるコラボレーションに取り組みます。株式会社ロフトでは渋谷ロフト×青山学院大学、京都ロフト×立命館大学との連携などに続き、東北では初の試みとなります。

**■産学連携学生生活動の経緯**

ロフトは感度のいい商品集積力が支持され、着実に成長を続けてまいりました。しかし、ここ数年は地元小売店として消費者のリアルニーズをいかに把握するかが課題となっていました。

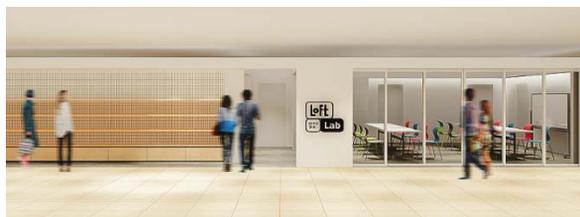
仙台地区では2011年以降、地域の活性化として多くの取り組みが行われてきましたが、地場産業を使った商品の企画・開発、販売に至るまでのルートの確立には未だ様々な課題が残されています。

そこで地域の将来を担う学生たちと多くの雑貨を扱えるロフトがタッグを組み、東北地域の活性化を目指して共に課題の解決策を探って活動することで、これまでの取り組みとは違った自由な発想でアプローチできると考えました。

ロフトの新たな成長戦略のひとつである産学連携の大きな一歩として、東北学院大学との連携を進めてまいります。

**■活動内容について**

仙台ロフト内にLAB（ラボ）スペースを設け、仙台ロフトおよび仙台の街をフィールドに学生が主体となって課題を見つけ活動する場とします。様々なリアルニーズに沿った共同商品開発や企画の提案を、仙台ロフトをベースに実行することでロフトだけでなく仙台の街、または東北全体の活性化を目指します。一方東北学院大学としては、学生が自ら主体的に考え行動出来る場を作ることで、今後の社会に対応していける人材の育成、また社会人と関わりを持つ事により、学びや地域・学校の活性化をねらいとしています。

**■今後の方向性**

ロフトでは、共に東北地域の活性化を志す企業と大学が協力することで、従来の枠組みにとらわれない新しい切り口の企画や提案が生まれることを期待しています。地元出身の学生が多い東北学院大学との連携は、時代のリアルニーズの把握や東北の地域経済を活性化するうえで重要な取り組みと位置付けています。

この活動を礎として、地場産業を継承し盛り上げていきたいと考えている地元のクリエイターと学生の自由な発想、駅前立地と集客力を持つロフトをつなげ、ゆくゆくはより大きな地域社会の課題解決に取り組みたいと考えています。

**■プレスルームの開設(予定)**

LABでは本格的プレスルームを併設する予定です。産学連携も含めた商品・企画情報などを発信する場としてマスコミ各社様にスペースをご提供いたします。

取材・掲載に関するお問い合わせは

東北学院大学学長室事務課 〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1  
TEL.022-264-6424 FAX.022-264-6364 E-mail : ck@staff.tohoku-gakuin.ac.jp